

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2006-287633(P2006-287633A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2005-104980(P2005-104980)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

G 0 9 G 3/28 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/74 D

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

G 0 9 G 3/20 6 4 2 P

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/36

H 0 4 N 9/31 A

G 0 9 G 3/28 K

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月25日(2008.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示画面に画像を表示するための画像信号の補正値を生成する画像表示装置の補正値作成方法であって、

前記表示画面に表示された画像の出力特性値の分布を検出する分布検出ステップと、

前記分布検出ステップにて検出された出力特性値の分布に対して領域を設定し、前記設定された領域内で前記出力特性値の分布を近似する近似関数を設定する近似関数設定ステップと、

前記近似関数設定ステップにて設定された領域内の各画素の出力特性値から、前記各画素における前記近似関数により算出された関数値を差し引いた差分を算出する差分算出ステップと、

前記近似関数に基づいて出力特性値の偏りを補正する補正値を生成する偏り補正値生成ステップと、

前記差分に基づいて出力特性値のばらつきを補正する補正値を生成するばらつき補正値生成ステップとを有していることを特徴とする画像表示装置の補正値作成方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像表示装置の補正値作成方法において、

前記ばらつき補正値生成ステップは、

前記差分算出ステップにて算出された差分の分布を近似する差分近似関数を設定し、前記設定された差分近似関数を補正する補正值を生成することを特徴とする画像表示装置の補正值作成方法。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の画像表示装置の補正值作成方法において、

前記近似関数設定ステップで設定される前記近似関数は、画素位置を変数とした多項式で与えられる関数であり、

前記差分近似関数は、前記近似関数よりも高次の関数として設定されることを特徴とする画像表示装置の補正值作成方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の画像表示装置の補正值作成方法において、

前記ばらつき補正值生成ステップは、前記設定された領域内の各画素の出力特性値から、前記各画素における前記近似関数により算出された関数値の差分に基づいて補正值を生成することを特徴とする画像表示装置の補正值作成方法。

【請求項 5】

コンピュータに、表示画面に画像を表示するための画像信号の補正值を作成させる画像表示装置の補正值作成プログラムであって、

コンピュータに、

前記表示画面に表示された画像の出力特性値の分布を検出する分布検出ステップと、

前記分布検出ステップにて検出された出力特性値の分布に対して領域を設定し、前記設定された領域内で前記出力特性値の分布を近似する近似関数を設定する近似関数設定ステップと、

前記近似関数設定ステップにて設定された領域内の各画素の出力特性値から、前記各画素における前記近似関数により算出された関数値を差し引いた差分を算出する差分算出ステップと、

前記近似関数に基づいて出力特性値の偏りを補正する偏り補正值を生成する偏り補正值生成ステップと、

前記差分に基づいて出力特性値のばらつきを補正するばらつき補正值を生成するばらつき補正值生成ステップと、

前記偏り補正值と前記ばらつき補正值とに基づいて前記画像信号を補正し、前記表示画面に前記補正された画像信号を出力する補正值出力ステップとを実行させることを特徴とする補正值作成プログラム。

【請求項 6】

表示画面内に表示される画像の出力特性値に分布がある画像表示手段と、入力された画像信号を前記出力特性値の分布に応じた補正值によって補正して前記画像表示手段に出力する補正手段とを有する画像表示装置であって、

前記補正手段は、

前記表示画面内の出力特性値の分布に対して設定された領域内で前記出力特性値の分布に対して設定された近似関数を補正する補正関数を格納した補正関数格納部と、

前記設定された領域内の各画素の出力特性値から、前記各画素における前記近似関数により算出された関数値を差し引いた差分に対する差分補正值を格納した差分補正值格納部と、

前記補正関数と前記差分補正值とに基づき、前記領域毎に前記入力された画像信号の補正を行う補正処理部とを有していることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 7】

画像を表示する表示画面内の出力特性値の分布を取得する分布取得部と、

前記出力特性値の分布に対して領域を設定し、前記設定した領域内で前記出力特性値の分布を近似する近似関数を設定し、前記設定した近似関数を補正する補正関数を格納する補正関数格納部と、

前記設定された領域内の各画素の出力特性値から、前記各画素における前記近似関数に

より算出された関数値を差し引いた差分を算出し、前記算出した差分を補正する差分補正値を格納する差分補正値格納部と、

前記領域ごとに、前記補正関数と前記差分補正値とに基づいて前記表示画面に表示する画像信号の補正を行う補正処理部とを有していることを特徴とする補正処理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像表示装置の補正値作成方法、画像表示装置の補正値作成プログラム、画像表示装置、及び補正処理装置